

インテリアでも

Re:HOME

「リフリン」のリネンで光と風を感じる生活を

# 家でいちばん大きなインテリア カーテンについて考えた

今の家をもっと気持ち良く、フレッシュにアップデートするなら、インテリアで模様替えするのも大いにアリ。なかでも効果的なのが、部屋の多くの面積を占めるカーテンを变えることだ。その理想形を、リネンを使ったカーテンブランド、リフリンに求めた。

山本 大 || 写真 石田有佑 || スタyling 名古屋 耶 || 文

ウッド調の室内と調和するネイビーのカーテンに、白の薄手リネンをレース代わりに。2枚重ねても透けて差し込む光が美しい。写真の窓(W2600×H2030mm)の場合、ネイビーが3万3000円、白が2万2200円で仕立てられる。ネイビー「フィールドシリーズ」4500円/m、白「エアリーシリーズ」2500円/m/ともにリフリン(エルエルトレード)※工賃別

パーカ5万9000円/クレブスキューール(オーバーリパー)





## カーテンは家の中と外をつなぐモノ。だから、気にすべきことがある

外からの「目隠し」効果は必要だけど、光や風までを遮断してしまつては息が詰まる。また、室内に吹き込む風はカーテンを通して入ってくるから清潔に保ちたいし、汚れにくいもの方がいい。カーテンに求めるコトって意外に多い。



上●カーテンは外と中を遮るものでもあるし、つなぐものでもある。庭とリビングを愛犬が行き来しても汚れが付着しにくいリネンのカーテンなら安心。カーテンは右ページと同じ。下●リフレインのリネンカーテンはローマンシェード型に眺めることも可能。大人っぽいグレーとネイビーのチェック柄もいい。写真の窓(W640×H1170mm)で1枚2万5300円で仕立てられる。4500円/m／リフレイン(エルエルトレイド)※工賃別

さらに着目すべきは、リネンに含まれるペクチンの働きによって汚れが付着しづらい点。オプションの防縮加工を施すと自宅の洗濯機でも洗えるため子供が汚しても気にならず、精神衛生上もグッド。また、繊維はしばしば、乾燥する時季には静電気がよって埃を吸引しやすいと指摘されるが、その心配も少ない。子供がカーテンにくるまって遊んでも安心なのだ。そしてウールと違って洗うほどに増す風合いは家族の歴史を物語るよう。いやはや、何とも素敵なインテリアじゃないか。

2015年にデビューしたリフレインは、世界から厳選したリネンだけを使うカーテンブランド。リネンは人類最古の布とも言われ、天然の抗菌性に吸湿性、通気性の高さから、古くは包帯や下着などにも用いられてきた。呼吸する。素材。つまりリネンのカーテンは、夏は外気に合わせて湿度を吸収・発散し、冬は繊維間に空気を保持するため保温効果が期待できる、「天然の断熱材」とも呼べるのだ。

インテリアを考えるとき、つい家具にフォーカスしがちだが、実は部屋の中で大きな面積を占めるカーテンこそ、まず考えるべきパーツだ。デザイン、素材、色みなど、多くの家具同様に検討すべき項目はたくさんあるのに、「意外と」とりあえず……」で済ませてはいないか。





1\_ロールカーテンに仕上げるのがおすすめなボーダー柄。5000円/m、2\_ランダムに配した青×黄×白のストライプが清涼な印象。ヒダが入る位置によって表情が変化する。4500円/m、3\_ペーヅに茶のチェックはアメリカな空間にも映える。4500円/m、4\_2本の糸を織り込むことで目を詰めたダークネイビー。リネンの透け感に抵抗がある人に。4500円/m、5~9\_縦糸と横糸に異なる色の糸を使った人気No.1シリーズはカラバリエも豊富。イエロー、ライトブルー、グレー、パープル、ライムグリーン、どれも空感がリネンの素朴さを際立たせる。各4500円/m、10\_優しい色みのこちらは無染色の生リネン。3200円/m/すべてリフリン(エルエルトレイド)※工賃別

## カーテンを変えるって一大事。だから、聞いておきたいことがある

リネンの良さはわかった。でも、カーテンを一新するには、手間も含めてそれなりの投資が必要。後悔しないために、事前に解決すべきことを最後に!

### 聞いておきたいこと ④

どうせ子供が汚します。  
家で洗えますか?

そんな家庭こそリフリンのカーテンがおすすめ。オプションの防縮加工を施すことで、縮みを気にすることなく自宅の洗濯機でジャブジャブ洗えるのだ。また、化繊と違い静電気が起こりにくいリネンは汚れも付きにくい。つまり、そもそも洗濯の必要が少ないってのもポイント。

### 聞いておきたいこと ③

うちのマンション、  
「防災素材」限定なんですけど……

東日本震災以降、防災素材しか使えない集合住宅は多い。そこでリフリンでは、リネンに防災加工を施すオプションを用意。素材本来の風合いや特性を失うことなく、「防災ラベル」をゲットできる。また、もし燃えたとしても天然素材ゆえに有害物質が出ないので安全なのだ。

### 聞いておきたいこと ②

毎日の開け閉め、  
すぐにボロボロにならない?

ウールに比べて軽量→毎日の開閉が楽→カーテンへの負担も少ない。この好循環もリネン素材のメリット。しかもリフリンのカーテンはすべて日本のファクトリーメイドなので、作りもしっかりしていてとても丈夫。ボロボロになるどころか、使うほどに風合いは増していく。

### 聞いておきたいこと ①

好みのデザインが  
見つかるか不安です

「リネン=ホッパリ」な印象で選択肢が少ないかと思いきや、バリエーションはかなり豊富。ポップな柄モノから透けにくく設定した肉厚仕様まで70種類以上がラインナップする。ヒダの数やローマシェードなど、仕立て方も指定できるので、楽しみ方の幅は広いのだ。